

Ⅲ 各教科等の指導重点事項

子どもたちが課題を解決したときの達成感や学んだことの意義を実感でき、主体的に学び続ける意欲を高めるためには、多様な考えにふれたり、課題解決の方法や表現方法を選択したりする場を設定するなど、子どもの思いや願いに応じた授業づくりが大切です。

ここでは、各教科等における、小・中学校共通の指導重点事項を整理するとともに、「わかった」「できた」を実感でき、「もっと学びたい」につなげるための指導のあり方に焦点をあて、各教科等の特質に応じた授業づくりの一例を取り上げました。

○○科

重点事項

1 ←

.

2

.

子どもの「もっと学びたい」につなげるために ←

「単元名、題材名、活動名 等」(対象学年)
本時のねらい

【教師】

.

.

.

学習課題：

【教師】

.

.

.

各教科等における、小・中学校共通の指導重点事項を示しています。

「もっと学びたい」につなげるために、重視したい指導のポイントを示しています。

子どもの思いや願いに応じた発問や場の設定など、教師の働きかけを文字囲みで示しています。

自ら学びに取り組む子どもの姿を示しています。

重点事項

1 確かな言語能力を育成する指導の工夫

- ・言葉の働きに関する自分の知識や理解、認識などの変容を自覚できるような学びが、螺旋的に積み重ねられていく単元や授業を構想する。
- ・小学校では日常生活において、中学校では社会生活において生かすことのできる言語能力をはぐくむために、身に付けた力を活用した実践的・体験的な活動を取り入れる。

2 叙述に即して読み取り、効果的に表現する力を高める指導の工夫

- ・論理構成を適切にとらえたり、描写の意図を考えたりするなど、文章の種類に応じた読み方を身に付けることができるよう、言葉や表現に着目して吟味する活動の充実を図る。
- ・相手や目的を明確にして情報を収集、検討したり、文章を推敲したりするなどの学習の過程を重視し、読み取る活動と表現する活動を相互に関連させた学習活動の充実を図る。
- ・伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう、一人ひとりの考えや表現を価値付け、全体で共有する場を設定する。

3 言語活動を支える基盤づくりの充実

- ・言葉に対する知識を身に付け、認識を深めることができるよう、獲得させたい言葉や表現等を授業や生活の中で取り上げるなど、教師の日々の働きかけを大切にす。
- ・学校司書と連携し、学校図書館や図書コーナー等を計画的に活用するなど、多様な本にふれる機会の充実を図る。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・筆者の説明の仕方をとらえることができるよう、文章中の情報や段落相互の関係について整理する場を設定するとともに、整理した内容と本文を結び付けて考える場を設定することが大切です。

「すがたをかえる大豆」(小学校3年)

本時のねらい：段落相互の関係に着目し、筆者の書き方の工夫をとらえることができる。

【教師】「中」のそれぞれの段落には、どのようなことが書かれているのでしょうか。

- ・どの段落にも最初に「おいしく食べるくふう」が書かれていて、その後に「きなこ」や「とうふ」などの食品があげられています。
- ・食品をあげてから、おいしく食べるための作り方を詳しく書いています。
- ・「次に」「また」「さらに」という言葉を使って、順番に五つの工夫を書いています。

「前時までに読み取った内容」

- ・「はじめ」「中」「終わり」に分けられる
- ・問いが書かれていない
- ・段落の最初に順序を表す言葉が使われている
- ・写真が使われている
- ・九つの食品があげられている

【教師】五つの工夫は、どのような順序で説明されているのでしょうか。

「段落相互の関係に着目して考えることができる問いかけをする」

- ・「いちばん分かりやすいのは」とあるので、見目が分かりやすい順序で書かれていると思います。
- ・でも、「なっとう」は豆の形をしているのに、「きなこ」「とうふ」の後に書かれています。
- ・七段落の「えだ豆」と「もやし」は豆の形で分かりやすいのに、どうして最後なのでしょう。
- ・二段落に「おいしく食べるくふう」とあるので、見た目だけではなく、工夫が分かりやすい順序で書かれているのではないのでしょうか。
- ・七段落には「これらのほかに」とあるので、他の段落とは違う工夫が書かれていると思います。

社会科

重点事項

1 追究意欲を高める指導過程の工夫

- ・社会的事象に対する気付きや疑問を引き出すことができるよう、探究心を喚起する学習課題の設定や資料の提示を行う。
- ・自分の考えを見つめ直したり、新たな疑問を持ったりすることができるよう、学習課題に対するまとめや学びを振り返る場면을重視する。

2 考えたことを表現する力を高める指導の充実

- ・資料から必要な情報を適切に読み取ったり、調べて分かったことを目的に応じて整理したりする活動を通して、社会的事象の意味や働き、事象間の関連などを解釈し、自分の考えを持つことができるようにする。
- ・地図や統計、年表などの資料や、調査活動を通して分かった事実をもとに、理由や根拠を明らかにして自分の考えを表現する場面を設定する。
- ・視点や目的を明確にした話し合い活動を取り入れたり、ICTを効果的に活用したりするなどして、分かった事実や一人ひとりの考えを比較したり関連付けたりすることができるようにする。

3 社会への参画意識を高める指導の工夫

- ・社会の一員としての意識を高めることができるよう、様々な立場や意見を踏まえ、よりよい社会のあり方を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする場面を、各分野、単元の中に意図的に設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・単元を通して、社会的事象に対する関心を高め、思考や理解を深めることができるよう、「単元を貫く問い（探究課題・学習問題）」を設定して仮説を立てるなど、学習の見通しを持つ場を取り入れることが大切です。
- ・社会的事象をより多面的・多角的にとらえることができるよう、既習事項や複数の資料を関連付けて考察する場を設定することが重要です。

「明治の国づくりを進めた人々」（小学校6年）

本時のねらい：明治維新をきっかけとした近代化の様子について追究するための課題（学習問題）を設定し、予想することができる。

【教師】江戸時代末ごろと明治時代初めの様子を比べると、どのような変化に気がきますか。話し合ったことをもとにして、学習問題をつくりましょう。

複数の資料を関連付け、多面的に考えさせる

（資料①④、②⑤、③⑥を比較して）

- ・寺子屋と小学校の勉強の様子が違います。椅子に座って前を向いて勉強しています。
- ・建物も服装も髪型も、洋風に変わってきています。
- ・今の自分たちの生活にかなり近づいているように感じます。

（資料⑦と関連付けて）

- ・明治時代の初めに大きな変化があったことが分かります。
- ・たった20年でこんなに変わったのはすごいです。
- ・だれかが中心になって世の中の仕組みを変えていったのではないのでしょうか。

学習問題：明治維新では、だれがどのように、世の中の仕組みを変えていったのだろうか。

【教師】学習問題に対する予想を立てましょう。

- ・洋風になっているから、外国と交流するようになったのだと思います。
- ・鎖国をしたままではだめだ、江戸幕府の政治を続けていてはだめだと考える人が出てきたのではないのでしょうか。
- ・外国の文化や制度を取り入れて、世の中の仕組みを変えていったのだと思います。

[提示資料の例]

- | | | |
|------------------------|------------------------|----------|
| 1 回目の資料提示 | <江戸時代末> | <明治時代初め> |
| ①高麗家住宅 | ④旧開智学校 | |
| ②寺子屋の様子 | ⑤小学校の様子 | |
| ③日本橋近くの様子
(1860年ごろ) | ⑥日本橋近くの様子
(1880年ごろ) | |
| 2 回目の資料提示 | ⑦この時代の主なできごと | |

算数科、数学科

重点事項

1 算数・数学のよさを実感させるための工夫

- 日常生活や数学の事象から見いだした疑問や予想を、課題設定や学習過程に生かすことで、解決する必要感を持って学習活動に取り組むことができるようにする。
- 子どもの興味・関心を高め、一人ひとりが自分なりの考えを持つことができるよう、課題の提示の仕方や、解決の見通しを持つ場面を工夫する。
- 身に付けた知識や技能を具体的な場面で活用したり、さらに発展させて新たな課題を解決したりすることで、学習したことの有用性を実感することができる活動の充実を図る。

2 思考力・判断力・表現力等を育成する指導の充実

- 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて、自分の考えをまとめたり、互いの考えを伝え合ったりする活動を積み重ねる。
- 多様な考えを価値付け、比較・検討する場の充実を図るとともに、誤答をもとに再考するなど、思考の過程に着目して考察する活動を工夫する。

3 基礎的・基本的な知識および技能を確実に習得する指導の工夫

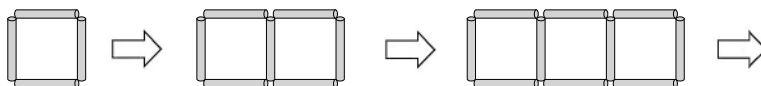
- 計算や作図など、技能の習熟を図る活動を単元の中で計画的に設定する。
- 全体で共有した考えが一人ひとりの理解と結びつくよう、振り返りの充実を図る。
- 新たな知識や技能と既習事項を関連付けて考える場面を設定したり、必要に応じて学び直しの機会を取り入れるなど、学習内容のつながりを生かした指導の充実を図る。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 学習したことの有用性や発展性を実感することができるよう、問題解決の過程を振り返って考察する活動を工夫することが大切です。

「2つの量の変わり方」(小学校5年)

本時のねらい：伴って変わる2つの数量から規則性を見だし、問題を解決することができる。



(問題) 図のようにほうをならべていきます。正方形を10個作るには、ほうはいくつ必要でしょうか。

(答え) 31本

【教師】 いろいろな方法で問題を解決することができましたね。ここまでの学習を振り返って気付いたことや、考えてみたいことはどのようなことですか。

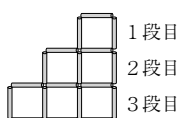
視点に基づいて振り返る場面を、柔軟に設定する

- ならべて数えるより、式を使った方が簡単でした。
- 〇〇さんのように、表にするとほうの増え方が分かりやすかったです。
- 正方形をもっと増やしたときのほうの数を求めてみたいと思いました。
- ほかのならべ方も考えてみたいです。

【教師】 今日の問題をもとにして、自分でも問題をつくってみましょう。

振り返りをもとに、発展的に考察する場を設定する

- 今日の図で、正方形を50個作るには、ほうはいくつ必要でしょう。
- 今日の図で、ほうが100本あると、正方形はいくつ作れるか求めてみましょう。
- 図のようにほうをならべて10段目まで作ったとき、1段目と同じ形の正方形はいくつできますか。



- 今日の学習をもとにして、数や形を変えたり、見方を変えたりしてみる
- 問題ができれば、答えを求めて確かめてみる

[問題づくりのルール例]

重点事項

1 自然の事物・現象についての知識や技能の習得につながる指導の充実

- ・課題解決を通して理解を深めることができるよう、子どもの問題意識に基づく課題を設定するとともに、他の場面と関連付けたりする場を設定する。
- ・観察、実験の基本的な技能の習得につながるよう、目的に応じて器具を操作する過程や、結果を適切に記録する活動などを積み重ねる。

2 見通しを持って、科学的に探究する力を育成する指導の充実

- ・既習内容や生活経験をもとに、予想や仮説を立て、観察や実験を計画する場を設定する。
- ・考察の場面で、比較、関係付け、条件制御などの考え方を働かせ、より妥当な考えかどうかについて根拠を明らかにしながら話し合う活動を取り入れる。
- ・次の学習に見通しを持って取り組むことができるよう、予想や仮説に対して実験が適切であったか振り返る機会の充実を図る。

3 自然の事物・現象に進んで関わり、探究しようとする態度を養う指導の工夫

- ・子どもが理科の楽しさや有用性を実感し、学ぶ意欲を高めることができるよう、学んだことを自然の事物・現象や日常生活との関連でとらえ直す場面を設定する。
- ・進んで自然に関わろうとする態度を養うことができるよう、植物の栽培や気象観測などの直接体験を重視するとともに、必要に応じて画像や動画などを活用し、自然の変化や規則性を発見する場を設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・課題解決の見通しを持って観察や実験を進めることができるよう、比較や関係付けを行いながら、変化させる条件を考える場を工夫することが大切です。

「ふりこのきまり」(小学校5年)

本時のねらい：ふりこをつくり、規則性を調べるために変える条件と変えない条件を考えることができる。

【教師】 曲のテンポに合わせてふれるふりこをつくることができるでしょうか。

たこ糸 ○たこ糸の長さや粘土の重さが異なるものを複数用意し、ふりこの周期がそろわないようにする。

粘土



クリップ



比較や関係付けを行って考える場を設定する

- ・曲に合わないので、曲のテンポに合うふりこをつくってみたいです。
- ・ふれる速さがふりこによって違うのはなぜか、調べてみたいです。
- ・たこ糸が長いほどふりこがゆっくりふれている気がします。

[ふりこの材料]

学習課題：ふりこのきまりを見つけよう。

【教師】 どこに注目するかを考えて、調べる内容を表にしてみましょう。

比較や関係付けをもとに実験方法を発想し、検討する場を設定する

- ・電磁石の実験のように、変える条件と変えない条件を考えようと思います。
- ・条件を変えて、何を記録したらいいのかを考えることが必要だと思います。
- ・ふりこの長さやおもりの重さ、ふり幅をいろいろ変えて実験したいです。
- ・調べる内容をお互いに見合って、実験できそうか相談したいです。

[調べる内容の表の例]

変える条件	変えない条件	記録すること	実験からわかること
ふりこの長さ	おもりの重さ ふり幅	1往復する時間	ふりこの長さとおもりの重さやふり幅と1往復する時間に関係があるか

重点事項

1 自分のよさや可能性に気付くことができる指導の工夫

- ・自分自身の成長について実感し、次の活動への意欲を高めることができるよう、見付けたことをICTを活用して写真等で記録させるとともに、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどを振り返り、表現する場面を設定する。
- ・自分のよさや得意としていることに気付くことができるよう、友達のよさを互いに伝え合う活動を設定する。
- ・各単元における子どもの成長を見取り、「～ができるようになったね」「～博士になったね」などの言葉がけをし、認めたり励ましたりする機会の充実に努める。

2 幼児期の教育や中学年以降の学びとのつながりを意識した指導の工夫

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を視点として、幼児期の遊びを通した学びが、小学校の学習にどのようなつながっているかについて把握するとともに、生活科を中心に各教科等との関連を図った単元を構成するなど、合科的・関連的な指導を工夫する。
- ・生活科での学びが、中学年以降の社会科や理科、総合的な学習の時間等に発展的につながっていくよう、子どもの思いや願いを生かした主体的な活動を重視するとともに、人や社会と関わることの楽しさや、自然の不思議さ、面白さを実感できる活動を設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・子どもが「やってみたい」「伝えたい」などの思いや願いを持って、主体的に活動できるように、試行錯誤や繰り返す活動を設定したり、伝え合い交流する場を工夫したりすることが大切です。

「作って ためして」(小学校2年)

本時のねらい：繰り返し試したり、友だちと交流したりする活動を通して、よりよく動くおもちゃになるように考え、工夫することができる。

学習課題：おもちゃをもっとパワーアップさせよう。

【教師】 おもちゃをもっとパワーアップさせるには、どうすればいいのかな。

- ・前の時間にお試しをしていたら、すぐ壊れちゃったからもっと頑丈にしたいな。
- ・もっとスピードが出るようにしたいです。
- ・まっすぐ進むことができるように工夫したいな。
- ・○○さんのおもちゃみたいに、遠くまで飛ぶようにしたいな。

【教師】 友達からもパワーアップのヒントをもらえそうですね。お試しをしながら、おもちゃをもっとパワーアップさせましょう。

試行錯誤や繰り返す場を設定し、工夫を伝え合うよう促す

- ・風が当たるところをもう少し広げたらもっと速く進むかな。
- ・トレイをもう1枚貼ってみよう。
- ・トレイを貼る向きも考えるといいと思うよ。
- ・高く飛ぶ秘密は、ゴムの数かな。それともゴムの太さかな。
- ・ぼくはゴムの数を増やしてみる。○○さんはゴムの太さを変えてみて。どっちが高く飛ぶか比べてみようよ。
- ・タブレットで撮影して比べてみよう。

[準備の例]

- ・材料コーナー
- ・見本のおもちゃ
- ・おもちゃ図鑑
- ・おもちゃ設計図
- ・お試しコーナー 等

【教師】 パワーアップの秘密をたくさん見つけたようですね。パワーアップしたおもちゃで、次は何をしたいですか。

子どもの思いや願いを生かした活動となるように、話し合う場を設定する

- ・パワーアップしてスピードが出るようになったよ。次は、友達と競争したいな。
- ・1年生を招待して、おもちゃパーティーをするのはどうかな。
- ・みんなが楽しめるように準備をしたいな。

重点事項

1 知覚したことと感受したことを関わらせ、音楽のよさを実感する指導の充実

- ・音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができるよう、音楽を形づくっている要素と曲想とを結び付けて考え、言葉で伝え合う活動を適切に位置付ける。
- ・曲を聴いて感じ取った面白さや美しさと、音楽を形づくっている要素の働きとを関連付けてとらえることができるよう、聴く視点を示したり、つぶやきを取り上げて問い返したりするなどの手立てを講じる。
- ・思いや意図を持ち、試行錯誤することにより高まった音楽表現を全体で共有する場を設け、価値付けることで、曲や表現のよさを実感させる。

2 音楽活動の基礎的な能力を培う指導の充実

- ・表現を創意工夫するために必要な技能を習得できるよう、個々の思いや意図を伝え合う活動と音楽で試す活動を行き来させる学習過程を重視する。
- ・表現領域の複数の分野を関連付けたり、表現領域と鑑賞領域を関連付けたりするなど、題材において取り上げる音楽を形づくっている要素を明確にした指導を積み重ねる。

3 多様な音楽のよさを感じ取らせるための指導の充実

- ・長唄や民謡など、郷土の音楽や諸外国の様々な音楽のよさを味わうことができるよう、それらの音楽の特徴をとらえることができる教材を選択するとともに、曲に合った歌い方や楽器の特性を生かした演奏の仕方を指導する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・思いや意図を持って表現活動に取り組むことができるよう、題材において取り上げる音楽を形づくっている要素を明確にし、試行錯誤しながら表現を工夫する場を設定することが大切です。

「われは海の子」(小学校6年)

本時のねらい：リズム、旋律、強弱などの特徴をとらえ、曲想と音楽の構造との関わりを理解するとともに、表現を創意工夫することができる。

【教師】「われは海の子」の海は、どんな海だと思いますか。

- ・明るくて、きれいな海が広がっているような感じがします。
- ・ピアノ伴奏だけを聴いても、明るく広い海の感じが伝わってきます。
- ・力強く波打っているような感じもします。

【教師】なぜそのような感じがするのか、楽譜を手がかりに考えてみましょう。

- ・♪ のリズムが何回も出てくるから、はずんだ明るい感じがするのではないのでしょうか。
- ・◀ (クレシェンド) や、▶ (デクレシェンド) がたくさんあって、波を表しているように見えます。
- ・音が上がったたり下がったりしているのも、もしかして波を表しているのではないのでしょうか。

【教師】リズムや強弱、旋律にも特徴がありそうですね。グループで歌いながら、イメージする海を表現できるように工夫してみましょう。

音楽を形づくっている要素をヒントに、工夫する視点を明確にする

- A：3段目は、階段のように音程がだんだん高くなっていますね。ここはどんなふうに歌いましょうか。
- B：始めは優しく歌って、音程が高くなるのに合わせてだんだん声を強くしてみたらどうでしょうか。
- A：そうですね。歌って試してみましょう。
- C：音程が高くなるのに合わせてクレシェンドを意識して歌ったら、波が近付いてきているような感じがしました。
- B：この歌い方にしてみたら、気持ちも盛り上がる感じがしました。次は3段目の後半を、広い海を表現できるように、高音を伸びやかに歌ってみたいです。

重点事項

1 思いを膨らませ発想を広げる導入の工夫

- ・「今の気持ちの色」や「形から感じるイメージ」など、題材について形や色などの視点から子どもの考えを引き出し、共有する場を設定する。
- ・作品制作の主題を明確にするために、思いを言葉で表したり、イメージマップを作成したりするなどの活動を取り入れる。

2 思考力・判断力・表現力等が高めるための工夫

- ・感性や想像力を働かせ、感じ取ったよさや美しさを自分の表現に生かすことができるよう、表現と鑑賞の活動を相互に関連させる場の充実を図る。
- ・子どもが創造的に作品づくりに取り組むことができるよう、材料や用具に選択の幅を持たせたり、試行錯誤の場を設定したりする。

3 表現の多様性や、身近なものよさ、美しさへの関心が高める指導の充実

- ・楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うために、生活や社会の中に見られる形や色彩、作品などから感じ取ったよさや美しさについて話し合う機会を設ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・材料や用具から発想を広げ、進んで作品づくりに取り組むことができるよう、用具の活用方法を考えたり、形や色からイメージしたことを伝え合ったりする場を設定することが大切です。

「絵の具でゆめもよう」(小学校4年)

本時のねらい：絵の具と用具の使い方や、形や色の組合せを工夫し、試しながら発想を広げることができる。

学習課題：絵の具と用具を使って「ゆめもよう」をつくろう。

【教師】絵の具と用具でいろいろな表し方を試してみましょう。

用具や表し方を例示し、試行錯誤する場を設定する

- ・絵の具を紙に垂らし、ストローでふいてみたら噴水のような模様ができました。
- ・網とブラシで絵の具を2色散らしてみたら花火のようになりました。
- ・絵の具を垂らした上でビー玉を転がしてみたら不思議な線がたくさんできました。

[用具・表し方 掲示例]

〈用具〉

- ・ストロー
- ・ビー玉
- ・あみとブラシ
- ・だんボール
- ・プリンのカップ
- ・スポンジ

など

〈いろいろな表し方〉

- ・にじませて
- ・かすれさせて
- ・たらしで
- ・写して
- ・ふいて
- ・ころがして
- ・ブラシでこすって
- ・もようを写し取って

【教師】みんなが試したのを見合って、どんな「ゆめもよう」を作るかお互いに話してみましょう。

試したものに対して、互いにイメージを伝え合う場を設定する

- ・ストローでふくとできる模様を赤やオレンジ色にしたら金魚のような模様ができそうです。
- ・金魚と一緒に、だんボールで模様をつけて水草も作ったら水の中の様子を作れそうですね。
- ・私は、黒い紙の上に網とブラシを使って星空のような模様を作りたいです。
- ・ビー玉を転がしたあとに、網とブラシでできる模様を重ねると、流れ星や天の川のような模様ができそうですね。

体育科、保健体育科

重点事項

1 運動意欲を高める学習過程の工夫

- 成功体験を積み重ね、自信を持って運動に取り組むことができるよう、本時のねらいをもとに、主運動につながる準備運動を取り入れたり、技能の実態に応じてルールを工夫したりする。
- 撮影した動画を用いて、個々のめあてを設定させたり、自分の変容に気付かせたりするなど、ICTを効果的に活用する。

2 思考力・判断力・表現力を育成するための指導の充実

- 課題を解決したり活動の仕方を決めたりするための話し合い活動や、互いに助言したり教え合ったりする活動の際は、「よい動きについて確認する」「ルールや練習方法、練習の場等を選ぶ」「作戦を立てる」などの視点を明確にする。
- ICTを活用して自分や友達、チームの動きなどを撮影し、よりよい動きをイメージしやすくしたり、自他の動きを比較して課題をとらえさせたりする。

3 健康の保持増進と体力の向上に向けた取組の充実

- 健康の大切さを実感し、生涯を通じて自らの健康を適切に管理、改善していく能力を高めるために、健康的な生活習慣と自らの日常生活の様子を比較して考えたり、話し合ったりする場面を設定する。
- 食事、運動、睡眠などの調和のとれた生活習慣が身に付くよう、養護教諭や栄養教諭等と連携した保健分野の学習を推進する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 表現の楽しさや喜びを味わうことができるよう、身近な生活等から題材を取り上げ、動きの特徴や感じたことを表現できる場を設定することが重要です。

「表現運動 表現」(小学校4年)

本時のねらい：題材の特徴や感じをとらえて、表したい動きを表現することができる。

【教師】 前の時間は、身近な生活の中から「洗濯」を表現しました。今日は、想像の世界で「〇〇探検」をしたいと思います。どこへ探検に行きたいですか。

- 昨日、動物園に行って、ライオンやキリンなどたくさんの動物を見てきたので、動物園の中を探検する動きを表現してみたいです。
- 動物園を探検する動きもいいと思いますが、森や川、植物、いろいろな生物がいるジャングルの中を探検しているところを表現してみたらおもしろいと思います。

【教師】 それでは、今日は「ジャングル探検」を表現してみましょう。

学習課題：自分なりの「ジャングル探検」を表現してみよう。

【教師】 「ジャングル探検」と聞いたときに、どのようなことをイメージしますか。

- 象やライオン、サイのような大きくて怖い動物がたくさんいるので、見つからないように体を小さくして探検します。
- 木がたくさんあって、木のつるや草が生えていて、ジメジメしているところを、汗だくになりながら探検するイメージです。
- 前からだけでなく、後ろや頭上からサルやクモなどが襲ってくるかもしれないので、周りをよく見て進みたいです。

【教師】 それでは、「ジャングル探検」を表現してみましょう。お互いに表現している姿をタブレットで撮影しながら、動きを考えましょう。

撮影とともに、気付いたことをメッセージとして録音させ、新たな気づきを促す

【教師】 友達からのメッセージを確認し、どのように感じましたか。

もっと肘を曲げて

- 体を小さくして草むらの中を進む場面を表現していたら、「もっとお腹を床に近づけた方がいいよ」とメッセージをもらいました。もう一度動画を見たら、その方が大きい動物に見つからないと思ったので、お腹が床に近づくように肘を曲げてもう一度挑戦します。
- ジメジメしているジャングルを表現するために、汗を拭いたり、腕まくりをしたりして表現しましたが、「表情をもっと苦しそうにした方がいいよ」とメッセージをもらったので、顔の表情にも気を付けたいです。



家庭科、技術・家庭科

重点事項

1 確かな知識・技能の習得を図る指導の工夫

- ・実践的・体験的な学習を通して、「なぜそうなるのか」「どうしてそうするのか」「どのような関係や法則があるのか」などの疑問を大切に授業を展開する
- ・調理、製作等の実習ではICTを活用し、写真や動画で、道具の持ち方や安全な使い方、操作の方法や姿勢などについて、互いに確認し合う場を設定する。

2 思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫

- ・課題解決に必要な力を養うことができるよう、題材を構成する際には、「生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定する」「解決方法を検討する」「課題解決に向けた実践を行う」「実践を評価・改善する」「よりよい生活や社会の実現に向けて考察したことを表現する」などの活動を適切に位置付ける。
- ・ICTを活用して、子どもの思考の過程や結果を可視化することや、考えを短時間で共有し、「比較する」「関連付ける」「分類する」などの活動の時間を保障することを通して、考えを広げたり深めたりできるようにする。

3 学ぶ意欲を高める指導の工夫

- ・日常生活と深く関わる題材を設定し、自らの生活や身近な技術への関心を高めることを通して、課題を積極的に解決しようとする態度をはぐくむ。
- ・学んだ知識や技能が、よりよい生活に結び付いていることを実感できるように、学校や家庭で実践したことを継続的に記録し、互いに紹介する場を指導計画に位置付ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・生活や社会と関連させて課題を見付け、新たな解決策を見いだそうとする意欲につなげることができるよう、これまでの生活での経験や調べたことを共有し、様々な視点から検討する場を設定することが大切です。

「生活を支えるお金と物」(小学校5年)

本時のねらい：買い物の仕組みや買い方を理解するとともに自分に合った買い方を考えることができる。

【教師】 買い物で困ったり、失敗したりしたことはありますか。

生活経験や調べたことを結び付けて学習課題を設定する

- ・前に買った同じ商品を、また買ってしまい無駄にしたことがあります。
- ・買った後、すぐに新商品が発売になり、がっかりしました。
- ・あまり使わないのに、欲しくなって買ったことがあります。もっと上手に買い物ができたらいいなと思います。

学習課題：物やお金を無駄にしないためには、どのような買い方をするとよいのだろうか。

たけしくんは、使うペンの数が多くなり、少し大きな筆箱を買いたいと思っています。今持っている筆箱はまだ使えるので、たけしくんは、新しい筆箱を買おうかどうか悩んでいます。

【教師】 たけしくんはどうすればいいでしょうか。グループで考えてみましょう。

友達と自分の意見を比較するなど、検討する場を設定する

- A：使うものが増えたのだから、新しく買った方がいいと思います。
- B：その前に、本当に使うペンなのか、筆箱に入れる物を考えてから買うかどうか決めるといいのではないのでしょうか。
- A：そうですね。よく使う物は今の筆箱に入れて、それ以外は何か代わりになるものを使ったらいいかもしれませんね。
- C：大きな筆箱になったら、机の中やかばんに入らなくなったりするかもしれません。買う前に、大きさを確かめる必要があると思います。
- D：買う前に家の人に相談して、アドバイスをもらうのもいいと思います。

外国語（英語）科

重点事項

1 コミュニケーション能力を高める指導の充実

- ・語彙や表現、文法事項等の指導では、実際のコミュニケーションの場を想定した言語活動と効果的に関連付けるなど、子どもがその必要性、有用性を実感しながら、身に付けた知識を活用することができるよう配慮する。
- ・英語で互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を授業の中心に据えるとともに、コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じた内容になっているか、活動の途中で新たな気づきを促したり、情報を整理したりする場を設定する。

2 思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫

- ・子どもの興味・関心を踏まえた課題を設定し、既習の語彙や表現を用いて考えや気持ちを自由に述べ合う時間を設けるなど、豊かな表現力を身に付けさせる機会の充実を図る。
- ・ALTに質問したりICT等を活用して調べたりする活動を通して、外国語の背景にある文化に対する関心を高め、自分の考えを表現できるような機会を設ける。

3 小・中学校の学びの連続性を意識した指導の充実

- ・各学年や校種間での学びの連続性を意識し、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを即興的に表現する活動を段階的に設定する。
- ・CAN-DO形式での学習到達目標リスト等を活用し、到達目標に対する共通理解を図るとともに、目標や達成状況を子どもと共有した上で授業を行う。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・自分のことや身近な簡単な事柄について、英語で書こうとする意欲を高められるよう、簡単な語句や基本的な表現に十分に慣れ親しませてから書く活動を行うことが大切です。

「Unit4 Summer vacations in the World」(小学校6年)

本時のねらい：夏休みの思い出を友達に紹介することができる。

学習課題：夏休みに行った場所と、そこで楽しんだことについて紹介しよう。

【教師】 How was your summer vacation?

【ALT】 It was fun.

I went to Yokohama. I enjoyed shopping.

I ate Chinese food. It was delicious.

【教師】 Oh, you went to Yokohama. That's nice!

単元全体のゴールとなるモデル文を聞かせ、学習の見通しを持たせる

【教師】 Where did (ALT) 先生 go?

・横浜！

・I went to Yokohama. って言っていました。

【ALT】 Yes! I went to Yokohama.

【教師】 What did (ALT) 先生 enjoy ?

・Shopping.

・Shopping って何だろう。

・買い物じゃないかな？

【ALT】 Yes, that's right! Shopping is 買い物.

I went to Yokohama and I enjoyed shopping

【ALT】 How about you? Where did you go?

・動物園！ I went to 動物園.

・ジェットコースターって何て言うんだろう。

【ALT】 Wow! You went to the zoo and you enjoyed the roller coaster.

・Yes, I went to the zoo. I enjoyed the roller coaster.

・Me, too! I went to the zoo!

【ALT】 Oh, I see. How about you? Please ask each other.

本時で書かせたい語句や表現を子どもが何度も聞いたり話したりする場を設定する

【教師】 Next, let's write about your summer vacation.

・I went toのあとに、行った場所を書けばいいのか。

・単語と単語の間が少し空いてるから、まねして書いてみよう。

I went to Yokohama.



I enjoyed shopping.



重点事項

1 多面的・多角的に考える指導の工夫

- ・子どもの実態や育てたい姿をもとに、その内容項目について最も考えさせたいことを明確にしたねらいを設定する。
- ・子どもが様々な視点から語り合い、広い視野から道徳的価値について考えることができるような発問や問い返しを工夫する。
- ・動作化や役割演技などの表現活動、問題解決的な学習を取り入れるなど、子どもが自らの考えをもとに、互いに考えを交流し深めていくことができるような授業の展開を工夫する。

2 自己の生き方について考えを深める指導の工夫

- ・子どもが問題意識を持ち、道徳的価値の理解をもとに自己を見つめる動機付けを図る導入の工夫をする。
- ・子どもの思考を深める手がかりとなるような板書の工夫をしたり、子どもが自己の生き方についての思いや願いを持つことができるような終末の工夫をしたりする。

子どもの考えを深めるために

- ・道徳的価値の理解をもとに、物事を多面的・多角的に考えることができるよう、教材の登場人物に自分を重ねたり客観的に見たりして話し合う場を設定することが大切です。
- ・自己を見つめ、よりよい生き方について考えを深めることができるよう、話し合いの視点を焦点化し、自分との関わりで考えるための手立てを工夫することが大切です。

主題名：誠実に生きる（A正直、誠実）

教材名：「手品師」（小学校6年）

本時のねらい：手品師の葛藤や決断について話し合うことを通して、誠実に生きることの大切さに気付き、誠実に明るく生活しようとする気持ちを高める。

【教師】「迷いに迷っている」手品師の揺れ動く心について話し合います。

登場人物に共感させた上で、多面的・多角的に考えさせるために役割演技を取り入れる

＜一人の登場人物の中の葛藤を、二人で演じる＞

- 大劇場に行く（A）か、男の子との約束を守る（B）か迷う場面
- A：夢が叶うチャンスだぞ。たくさんのお客さんの前で手品ができるんだ。
- B：男の子と約束したじゃないか。約束を破ることになるんだぞ。
- A：せっかくのチャンスを逃すのか。大劇場に行くと生活も楽になる。
- B：本当にいいのか。男の子を悲しませることになるぞ。
- A：そっちこそ、本当にいいのか。生活が今のままになってしまふんだぞ。
- B：後悔はない。やっぱり約束したことは守りたい。

[役割演技の取り入れ方の例]

- 役割演技を取り入れる前までの発言等を踏まえ、演者を意図的に指名し、即興的に演じさせる。
- 演技後の話し合いでは、はじめに、見ていた子どもたちに、演じられた言動とその背景にある心情を考えるよう促し、次に、演じた子どもたちに、演じた言動の意味を問う。

【教師】手品師はどのような様子でしたか。その時、どんな気持ちだったのでしょうか。

- ・Aは、長年の夢を叶えたいという気持ちを強く持ったのだと思います。
- ・Bからは、男の子のことを第一に思う気持ちが感じられました。
- ・どちらもすごく真剣に考えていて、なんだか苦しそうでした。

【教師】どのような気持ちで演じたのですか。

- A：とても悩みました。でも、せっかくのチャンスをつかみたいと思いました。
- B：男の子の笑顔が見たい、約束を破るわけにはいかないと強く思いました。

【教師】手品師は、どうして男の子との約束を守ったのでしょうか。

- ・男の子のためにできることをしたいと思ったのだと思います。
- ・男の子の笑顔を見ることが、自分の喜びにもつながったのではないのでしょうか。

【教師】手品師の行動からどのようなことを学びましたか。

よりよい生き方についての考えを深めさせる

- ・相手に対して誠実であるということは、自分自身を大切にすることにもつながっていると思いました。

特別活動

重点事項

1 話し合い活動の充実

- ・学級や学校のよりよい生活づくりにつながる集団決定ができるよう、「相手の意見を取り入れ、折り合う」「反対するだけでなく、改善策を提案する」など、相手の立場も踏まえた建設的な話し合い活動の充実を図る。
- ・短冊やホワイトボード等を活用して、一人ひとりから出された意見を分類・整理するなど、合意形成までの流れを可視化したり、構造化したりする。
- ・積極的に社会に参画する力をはぐくむために、子どもが話し合い活動の課題を自分事としてとらえ、合意形成や意思決定したことを実践する機会を設定する。

2 体験活動の充実

- ・よりよい生活や望ましい人間関係を築く力をはぐくむことができるよう、学年・学級における集団活動や異年齢集団活動など、様々な人との関わりを通して体験を共有したり、多様な価値観にふれたりする機会の充実を図る。
- ・事前に活動のねらいを十分に理解させるとともに、自他のよさに気づき、活動の成果を今後の生活に生かすことができるよう、個人の変容や集団の成長に着目した記述や発表を取り上げ、価値付ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・「自分たちの力でよりよい学級にすることができる」という実感を持つことができるよう、互いの意見のよいところを組み合わせたり、めあてを確認して意見をまとめるなどして、合意形成を図る活動を設定することが大切です。

「もっとみんなと なかよし集会をしよう」(小学校5年)

本時のねらい：それぞれの意見のよさを生かし合いながら、みんなが協力できる集会の内容を話し合っ
て決めることができる。

議題：友達やクラスのよさを見つけることができる、なかよし集会をしよう。

司会：今日話し合うことは、クラスで行うなかよし集会の内容についてです。この集会の提案理由は、「このクラスになって1ヶ月がたち、もっとみんなのことを知り、仲を深めることができるよ
うな集会をしたい」でした。このことを考えると、どのような内容がよいでしょうか。

内容を焦点化させた話し合いの場を設定する

- ・みんなの仲を深める集会だから、グループで協力して行えるジェスチャーゲームがいいと思います。
- ・みんなで楽しく身体を動かして遊べるように、フルーツバスケットがしたいです。
- ・みんなのことをもっと知ることができるように、「私はだれでしょう」クイズはどうでしょうか。

司会：たくさんの案が出ましたので、この中からどの内容にするか、話し合っていきたいと思います。

- ・一つだけではなく、いくつかのゲームをやってみたいです。
- ・グループ対抗の形で、いくつかの内容をやるのはどうでしょう。
- ・私も賛成です。みんながやってみたいものを組み合わせてみるのはどうでしょう。
- ・でも、案がたくさんあってどれがいいか、決めるのが難しいです。

【教師】 いろいろな意見が出てとてもいいですね。今回の提案理由や集会の時間などを考えて、一度案を整理してみましょう。

折り合いを付けながら話し合いを進められるよう、必要に応じて助言する

司会：みなさんの案を整理していきたいと思います。何か意見はありませんか。

- ・どの案も、みんなが仲良くなれそうなのですが、集会の時間が決まっているので、それぞれのゲームにかかる時間で整理すると思います。

【話し合うこと】
○なかよし集会の内容
・イラストしりとり
・ペットボトルボーリング
・ジェスチャーゲーム
・フルーツバスケット
・「私はだれでしょう」クイズ

総合的な学習の時間

重点事項

1 探究的な学習活動の充実

- ・体験から生じた疑問や体験活動前後の認識の違いから探究課題を設定させることで、課題意識を持ち主体的に学習を進めることができるようにする。
- ・「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究の過程において、ICTや考えるための技法を効果的に活用し、学習活動の充実を図る。

2 他者と協働的に取り組む学習活動の充実

- ・他者と考えや意見を交流する機会を設定し、自分の考えをとらえ直して再構築したり、新たな疑問や課題を持ったりすることができるようにする。
- ・他者と協働して、複数の情報を比較・分類しながら必要な情報を選択したり、関係性を読み取りながら整理・分析したりするなど、新たな価値を見いだすことができる活動を学習過程に取り入れる。

3 地域や実社会とのつながりを深める学習活動の充実

- ・学校や地域の特色を生かしながら、地域をフィールドにした調査活動や体験活動の充実を図るとともに、地域の方や専門的な知識を有する方などに関わる場面を設定する。
- ・自分たちの身近な生活と社会の出来事を結び付けるなど、広い視野から物事をとらえ、考える学習活動を取り入れる。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・集めた情報をもとに自分の考えを深めることができるよう、話し合い活動の場を可視化するなど、協働して様々な情報を整理・分析する活動を工夫することが大切です。

「持続可能な社会に向けて～環境問題にチャレンジ!～」(小学校5年)

本時のねらい：資源を有効活用するために自分たちができることについて、集めた情報をもとに意見交換し、考えを深めることができる。

○限られた資源を有効に活用するための方法について調べたことを発表する。

A班

- ・水や電気をむだづかいしない。
- ・クーラーはひかえめにする。
- ・使わない電気は消す。
- ・冷蔵庫をすぐ閉める。

B班

- ・物を大切にする。 ・買いすぎない。
- ・買い物をするときに袋をもらわない。
- ・ゴミを減らす。 ・植物を育てる。
- ・魚の骨をひりょうにする。

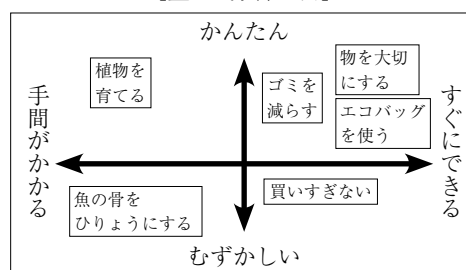
学習課題：資源を有効に活用するために自分たちができることを考えてみよう。

【教師】自分たちができることをカードに書き出し、グループで分類しながら意見交換しましょう。

考えを深めることができるよう、話し合いを可視化し、整理・分析する場を設定する

- ・エコバッグを買い物に持っていくのですが、これは資源を有効に使っていることになるのでしょうか。
- ・ビニール袋を使わない分、ゴミが減るので有効活用だと思います。
- ・ゴミを減らすために私の家では詰め替え用のシャンプーを使っています。
- ・身近なことでいろいろできることがあるんですね。簡単にできる小さなことでも積み重ねることが大切だと思います。
- ・魚の骨を肥料にするのは、難しいと思います。
- ・肥料をどうやって作っているかを調べて家族や地域の人に紹介することはできるのではないのでしょうか。
- ・なるほど、そういう考え方をするともっといろいろなことができそうです。もう少し考えてみましょう。

[整理・分析の例]



小学校外国語（英語）活動

重点事項

1 コミュニケーション能力を育成する単元計画の工夫

- 単元の終末で目指す子どもの姿を明確にし、単元を中心となる言語活動を設定した上で、各単位時間の活動計画を作成する。
- 単元全体を通して、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を繰り返し設定する。
- コミュニケーションを行う相手や目的、場面、状況等を明確にし、英語で尋ねたり答えたりする必然性のある場面を設定する。
- 言葉や文化の面白さ、豊かさを実感することができるよう、ネイティブスピーカーとのチームティーチングを効果的に活用したり、ICTを用いて世界の言語や文化にふれたりする機会を設ける。

2 英語で会話しようとする意欲を高める指導の工夫

- 教師自身がモデルとなり、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションにより思いが通じ合う楽しさを示すなど、子どもが自分もやってみたいと感じられるような場を設定する。
- 「英語だけど分かった」という実感に結び付けられるよう、あいさつや簡単な指示、称揚などを英語で行ったり、イラストやジェスチャー等の視覚的な情報を手がかりに意味を推測しながら聞く活動を設けたりする。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 英語を使って思いが通じ合う喜びや達成感を持つことができるよう、相手の興味・関心や状況に応じて、伝える内容を考えることが大切です。

「Unit4 This is my favorite place」(小学校4年)

本時のねらい: 学校内のお気に入りの場所とその理由について伝え合う。

○友達とお気に入りの場所を伝え合い、同じ場所の友達とグループを作る。

A: My favorite room is the library. I like books.

B: I like the library, too. I like 恐竜…books.

A: Oh, nice. We are “library group”!

学習課題: 学校内のお気に入りの場所についてALTのエミリー先生に伝えよう。

【教師】 グループで、お気に入りの場所とその理由をエミリー先生に伝えましょう。エミリー先生にもその場所を好きになってもらうためには、どのように伝えればよいでしょう。

相手意識や目的意識が高まるような発問を工夫し、例を示す

【教師によるデモンストレーションの例】

My favorite place is the gym. I like dodgeball and おにごっこ。
エミリー先生はバスケットボール部だったと聞いたから、
Emily sensei, you like basketball. Let's play basketball together.



[Aさん]

そうか！エミリー先生の好きなことを考えたらいいのかな。
たしかお料理と読書が趣味で…。日本食が大好きって言ってた！

この間先生がひらがなの勉強をしているのを見たなあ。



[Bさん]

A: Our favorite room is the library. I like books and 読み聞かせ time.

B: I like the library,too. I like 恐竜…ダ…dinosaur books.

A: You like cooking. Let's read Japan…food books together.

B: You study Hiragana. Let's read Japan…絵本 together.

【ALT】 Oh,great. Your favorite place is the library.

I like books, too. Let's read books about Japanese food.

I want to enjoy picture books! Thank you.